

1. 幼稚園の教育目標

・ じょうぶな体	明るく、すこやかな心身を育む
・ やさしい心	友だちとの協調性を育む
・ がんばる力	意欲と豊かな想像性を育む
・ 興味をもつこと	いろいろなことに興味や関心をもつ子どもになる

2. 令和5年度 事業計画の重点目標

1 園児の安全面と主体的活動となるよう環境作りを行う
2 保護者と連携して子どもについて共有を行う

3. 評価項目の達成及び取り組みの状況

(A:十分達成されている B:達成されている C:取り組まれているが、十分ではない D:取り組みが不十分)

	評価項目	自己評価	内容等
1	保育の計画性 重点目標	B	先を見通しての計画・立案を念頭に進めていけた。進める中で、優先順位をつけた業務遂行ができるといい。業務内容の見直しや取捨選択をしていくことも必要と考える。直前になって計画の変更のないようにしていきたい。
2	保育の在り方 幼児への対応	A	園児一人ひとりを見て、また、特性を理解した上で丁寧な対応ができた。話に耳を傾け、にこやかに対応して、信頼関係を築いてきた。情報共有することで、担任だけでなく、園全体で一人ひとりを見ることができた。
3	保育者としての 資質や能力	A	保育経験の多い職員が大半であり、園児・保護者対応をはじめ、臨機応変な対応や職員間共有ができた。
4	保護者への対応	A	相談や問い合わせがあった場合は、迅速な対応を心がけた。話を聞く機会をつくり、園での様子を伝え、手立てを考えていくようにした。また園からの連絡では、アプリを通して丁寧に行い、保護者にきちんと伝わるように気をつけて行った。
5	地域の自然や 社会とのかかわり	B	交流センターでの地域の方々とのふれあいでは、普段会う機会の少ない年代との交流が園児にとっていい経験となった。手遊びなどを通して、笑顔あふれる交流が見られた。これからも様々な年代との交流機会を作っていきたい。
6	自己研修など	A	オンライン研修が増え、職員個々の時間で研修を受講することができた。また研修内容を職員間で共有したり、伝達することで知識も広がった。教育や保育にかかわらず、興味のある分野について調べることで自己研鑽につながった。

4. 重点課題等の総合的な評価結果

- ・ 1年を通して計画的、主体的な保育活動ができた。安全面を考慮した職員配置を行い保育を行った。
- ・ 保育公開日や面談での情報交換・共有の大切さを改めて感じた。

5. 今後取り組む課題等

保育計画や関わりについて

- ・ 安全性を継続しながら主体性やかかわりを深める保育の実施

情報の共有と伝え方

- ・ 情報をきちんと伝え、共有できるように機会を増やし、共有する